

かりや

K

市議会

議会だよりは市民のみなさんと
議会をつなぐ「かけはし」です
ぜひ御一読を



かつなりくん

だより

〈第128号〉

～刈谷市議会は、議会基本条例を制定し「市民に開かれた議会」・「市民に信頼される議会」を目指して議会活性化に取り組んでいます。～



ハバタッキー

本年5月
リニューアル
オープン

最新型プラネタリウムを配備 中央児童館の新名称は

「夢と学びの科学体験館」

限りなく自然に近い星空を再現

輝く星の数は1000万個



刈谷市の未来を担う市内の中学3年生が議会を体験

～ 新たな図書館は必要か？ 図書館の新設条例を題材として、白熱した討論を展開 ～

地方自治制度学習 平成26年10月30日～11月14日 刈谷市役所9階 本会議場

主な記事	ページ
議決した議案	2～3
委員会視察の報告	4～5
委員会の動き	4～5
一般質問	6～8

12月定例会のあらまし

この定例会は12月3日に招集され、会期17日間で、12月19日に閉会しました。
今回は議案など34件と請願3件が提出されました。

主な議案は刈谷市児童館条例の一部改正についてなどです。

◆12月3日～5日 本会議

(議案説明、一般質問)

市長から提出された議案についての説明を受けた後、一般質問に入りました。

一般質問は15名の議員により

36項目について行われました。

◆5日 本会議

(議案審議、委員会付託)

損害賠償の額を定める専決処分
の報告などがありました。その後25議案について説明を受け、関係する委員会で審査することになりました。

次に、平成26年度刈谷市一般会計補正予算など予算議案7件について説明を受けた後、予算審査特別委員会を設置して審査することにしました。

◆5日 予算審査特別委員会

予算議案の審査のため、分科会を設置し審査することになりました。

◆9日～12日 委員会・分科会

議案や請願が審査され委員会や分科会で採決が行われました。

◆18日 予算審査特別委員会

予算議案の採決が行われました。

◆19日 本会議

各委員長より、委員会での審査の経過と結果が報告されました。

市長提出議案の一部について、反対意見がありました。しかし、いずれも原案のとおり可決され、議員提出議案である「刈谷市規模企業振興基本条例の制定について」は、起立少数により否決されました。

また、請願3件は、いずれも不採択となりました。

12月定例会での傍聴者数は延べ64人です。

★傍聴をお待ちしています★

* 3月定例会の開催予定 *

- 2月 16日 (月) 議会運営委員会 (運営を協議)
- 19日 (木) 本会議 (施政方針、議案説明等)
- 3月 3日 (火) 本会議 (質問質疑)
- 4日 (水) 本会議 (質問質疑)
- 6日 (金) 本会議 (質問質疑)
- 10日 (火) 予算審査特別委員会
- 11日 (水) 企画総務委員会・分科会
- 12日 (木) 福祉経済委員会・分科会
- 13日 (金) 建設水道委員会・分科会
- 23日 (月) 文教委員会・分科会
- 24日 (火) 予算審査特別委員会
- 議会運営委員会 (運営を協議)
- 本会議 (委員長報告・採決)

各会議は10時から17時まで(進行状況等により、変更する場合があります)。傍聴の際は、当日次の受付へ。

本会議：市役所10階、傍聴受付
委員会：市役所9階、議会事務局受付

○託児を希望される方へ(生後6ヶ月以上の未就学児、先着順)
傍聴の際、臨時保育室「カンガールーム」をご利用できます。
傍聴希望日の3日前までに議会事務局までご連絡ください。

○手話通訳を希望される方へ
傍聴の際、手話通訳者派遣制度をご利用できます。
傍聴希望日の1週間前までに福祉総務課
(Tel. 62-1208 Fax 24-3481)までご相談ください。

質問質疑等 K A T C H 放映 (106ch)

2月20日(金)、3月11日(水)、17日(火)、19日(木)
詳しくはチャンネルガイドをご覧ください。



主な議案 12月 定例会

今回は、刈谷市児童館条例の一部改正についてなどです。質疑については、本会議で報告された各委員会の委員長報告を中心に、要約して掲載します。

条例議案

■刈谷市児童館条例の一部改正について

プラネタリウムの観覧料(個人)は

大人300円

小人100円に

平成27年5月に中央児童館を「夢と学びの科学体験館」としてリニューアルオープンします。

【3つの機能】

①科学体験や科学遊びが楽しめる

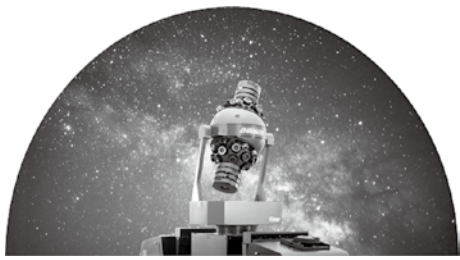
科学実験や実験ショーを楽しむ中で、科学に対する興味を深め、楽しめる機能

②刈谷のものづくりを広げる

理科教育に対する愛着や理解を深める機会を増やす機能を

③天文宇宙に触れる

最新のプラネタリウムを導入することにより、「迫力ある美しい投映」を可能にする機能

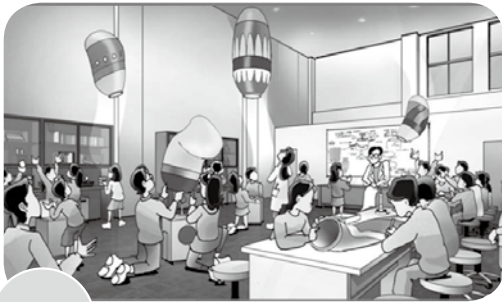


夢と学びの科学体験館 HANDS-ON SCIENCE MUSEUM

【主な設備】

科学実験を計画的に実施

ラボ



学校では体験できない科学実験 ラボ

簡単工作コーナー

いつでも手軽に、ものづくりが楽しめるコーナー

実験ショー&オープンスペース

実験ショーをはじめ、企画展やランチスペースなど多目的に活用できるエリア

プラネタリウム

「限りなく自然に近い星空」を再現できる光学式プラネタリウムと、全天候に映像を映し出すことのできる映像システムの異なる機器を融合したハイブリッド式のプラネタリウムを導入

【問】一般投映のスケジューリングは、どのようなものか。

【答】今までは、土曜日に2回、日曜・祝祭日に3回、春夏冬休みに1日1回の投映をしてきたが、来年度からは、それぞれ回数を増やす予定である。

プラネタリウムの観覧料

区分	改正後
個人	大人1人1回につき 300円
	小人1人1回につき 100円
団体 (20人以上)	大人1人1回につき 250円
	小人1人1回につき 50円

※新しく導入される最新鋭のプラネタリウム「クロノス2」が星空の感動を伝えます。

【問】「はばたき」という愛称は、今後どのようにするのか。

【答】昭和56年の開館当初から市民に親しまれてきたものであるため、引き続き愛称は「はばたき」とする。

【問】プラネタリウムの料金の改定根拠はどのようなものか。

【答】プラネタリウムのグレイドアップに伴い、県内の同規模の他の施設を参考にしながら、市民に利用しやすい料金となるように設定した。

【問】改定前は寄附によるものであったため50円で運営できたものなのか。

【答】開館当時に、企業の方から寄附をいただいたが、そのために50円になったのではなく、全体の工事費とランニングコストにより設定されたものである。

【問】これまで無料であった中学生以下のプラネタリウムの観覧料が100円となり、大人の観覧料も300円となる料金設定には、反対であるとの意見がありました。採決の結果、可決することに決定しました。

表示盤を更新

電光掲示盤としてパブリックビューイングも可能に

平成27年2月にウェーブスタジアム刈谷の表示盤を更新しました。

電光掲示盤の設置に伴い設備費が必要となるものの、上昇したコスト分を使用料として市民に転嫁することには反対であるとの意見がありましたが、採決の結果、可決することに決定しました。



電光掲示盤の多目的活用に期待

【問】「かも・かもポッポ」という遊具の名称は、どのようにつけたのか。

【答】公募を行い60名の応募の中から市内在住の女性の応募作品を採用した。

【問】遊具はどのようなものか。

【答】電動式のミニ自動車で乗車定員は18名である。また、走行延長は207メートル。運行時間は、約3分である。

【問】「かも・かもポッポ」という遊具の名称は、どのようにつけたのか。

【答】公募を行い60名の応募の中から市内在住の女性の応募作品を採用した。

【問】遊具はどのようなものか。

【答】電動式のミニ自動車で乗車定員は18名である。また、走行延長は207メートル。運行時間は、約3分である。

単行議案

■各施設の指定管理者の指定について

各施設の指定管理者を指定します。それぞれの指定管理者及び指定期間については別表のとおりです。

主な施設の質疑

（郷土資料館）

【問】一般入館者の人数はどのように変化しているか。

【答】21年度は、6,846人であったが、22年度の改修工事を経て、25年度は、13,950人となっている。

【問】来館者を増やす取組みをどのように考えているか。

【答】鉄道会社が主催するウォーキングに合わせたイベントの開催などを考えている。

●別表 各施設の指定管理者の指定について

施設	指定管理者	指定期間
青山斎園	都市施設管理協会	5年 平成27年4月1日～ 平成32年3月31日
ふれあいの里 (しげはら園を除く※1)	社会福祉協議会	
一ツ木福祉センター		
老人デイサービスセンターたんぼ、 身体障害者デイサービスセンターたんぼ		
生きがいセンター	シルバー人材センター	
交通児童遊園	都市施設管理協会	
産業振興センター		
公共駐車場(※2)	まちづくりかりや(NPO法人)	
公共駐車場(桜駐車場)		
コミュニティ施設 (各地区市民館22館)	各地区市民館運営委員会	
郷土資料館	都市施設管理協会	

※1 くすのき園、すぎな作業所、心身障害者福祉会館、老人デイサービスセンターひまわり、養護老人ホーム、高齢者交流プラザ

※2 御幸、寺横、神田、相生、刈谷駅南口広場、刈谷駅北口広場、泉田、築地、一ツ木第1、一ツ木第2、板倉、松栄の各駐車場

補正予算議案

全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、関係する分科会で審査されました。

12月18日に再度予算審査特別委員会を開催し、各分科会での審査結果について各委員長より報告を受け、19日の本会議において原案のとおり可決しました。

補正する額(一般会計) 3億3,155万1千円
補正後の予算総額(一般会計) 543億8,458万5千円
補正後の予算総額(全会計) 834億438万8千円

主な事業 (環境) 燃料電池自動車(FCV)購入経費の一部を補助します。 130万円

※市民の方から貴重なご寄附をいただきました。有効に活用させていただきます。

- ・高齢者福祉施設事業費寄附金 23万8千円
- ・心身障害者福祉事業費寄附金 39万1千円
- ・児童育成事業費寄附金 42万円
- ・母子衛生事業費寄附金 66万円

請願の結果

今回市民の皆さんから提出された請願3件は、関係する委員会で審査された結果、いずれも不採択となりました。

- 【請願】
▼介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願 不採択
▼現行保育制度の堅持と保育・児童保育・子育て支援の充実を求める請願 不採択

▼「刈谷城築城」ではなくくらしの応援・福祉の充実を求める請願 不採択

12月定例会提出議案の賛否について

12月定例会へ提出された議案のうち、賛否が分かれたものについて掲載します。(○：賛成 ×：反対)

Table with columns for council members (議長, 副議長, 議員) and various proposals. Rows include items like '刈谷市議会の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について' and '刈谷市小規模企業振興基本条例の制定について'.

議決結果一覧表

- 損害賠償の額を定める専決処分について 了承
- 専決処分について(一般会計補正予算(第3号)) 承認
- 【企画総務委員会関係・5議案】
刈谷市議会の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について すべて可決
- 【福祉経済委員会関係・11議案】
指定管理者の指定について(刈谷市立くすのき園、刈谷市立すぎな作業所、刈谷市中心身障害者福祉会館、老人デイサービスセンターひまわり、刈谷市養護老人ホーム及び高齢者交流プラザ) すべて可決
- 指定管理者の指定について(刈谷市一ツ木福祉センター) すべて可決
- 指定管理者の指定について(老人デイサービスセンターたんぼ及び身体障害者デイサービスセンターたんぼ) すべて可決
- 指定管理者の指定について(刈谷市生きがいセンター) すべて可決
- 刈谷市介護サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について すべて可決
- 刈谷市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正について すべて可決
- 刈谷市国民健康保険条例の一部改正について すべて可決
- 指定管理者の指定について(刈谷市交通児童遊園) すべて可決
- 刈谷市児童館条例の一部改正について すべて可決
- 指定管理者の指定について(刈谷市産業振興センター) すべて可決
- 【建設水道委員会関係・4議案】
指定管理者の指定について(刈谷市公共駐車場) すべて可決
- 刈谷市都市計画法に基づく開発行為等の許可に関する基準を定める条例の制定について すべて可決
- 岩ヶ池公園条例の一部改正について すべて可決
- 刈谷市風致地区内における建築等の規制に関する条例の制定について すべて可決
- 【文教委員会関係・4議案】
刈谷市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について すべて可決
- 指定管理者の指定について(コミュニティ施設) すべて可決
- 指定管理者の指定について(刈谷市郷土資料館) すべて可決
- 刈谷市体育施設条例の一部改正について すべて可決
- 【平成26年度補正予算関係・7議案】
一般会計補正予算(第4号) すべて可決
- 刈谷小垣江駅東部土地地区画整理事業特別会計補正予算(第1号) すべて可決
- 刈谷野田北部土地地区画整理事業特別会計補正予算(第1号) すべて可決
- 下水道事業特別会計補正予算(第1号) すべて可決
- 国民健康保険特別会計補正予算(第1号) すべて可決
- 介護保険特別会計補正予算(第2号) すべて可決
- 水道事業会計補正予算(第1号) すべて可決
- 【請願・3件】
介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願 すべて不採択
- 現行保育制度の堅持と保育・児童保育・子育て支援の充実を求める請願 すべて不採択
- 「刈谷城築城」ではなくくらしの応援・福祉の充実を求める請願 すべて不採択
- 刈谷市小規模企業振興基本条例の制定について 否決

市とすゝるために

目指して、各委員会で先進都市を視察～

※印が掲載した項目です。

◆福祉経済委員会 (10月22日～24日)

※千葉県柏市

地域包括ケアシステム構築へ向けた
取組について

東京都東村山市

むさしの認定こども園について

東京都多摩市

島田療育センターについて

◆企画総務委員会 (10月15日～17日)

千葉県千葉市

消防団支援の取組について

※埼玉県春日部市

シティセールスについて

千葉県野田市

空き家対策について

地域包括ケアシステム構築への取組み

—医療・看護・介護等の連携強化を—

福祉経済委員会委員長 新海 真規

シティセールス戦略を展開する春日部市

—市内外から選ばれるまちを目指して—

企画総務委員会委員長 清水 行男

目的
高齢化率が28%を超える千葉県柏市豊四季^{とよしき}台団地における地域包括ケアシステムの構築の取組について学ぶことで本市の保健行政についてを再考する。

視察内容
医療部門との連携を図るために、病院に理解を求め、多種の専門医による「顔の見える研修会」を開催し意思の疎通を図っている。ルール作りや市民への啓発と意識改革のために年間60回以上に及ぶ意見交換会などの開催在宅ケアの不安を取り除くための説明会も開催している。

平成26年4月に開設された「柏地域医療連携センター」では病院から在宅に戻る際の調整支援や、多職種による在宅医療・看護・介護のコーディネート機能、在宅医療に係る医師の研修機能、市民相談等に関する役割を果たしている。

目的
自治体間競争が激しさを増す中、地域への愛着を育み、まちのイメージを向上させ、定住人口の増加を図るシティセールスの取組みを学ぶ。

視察内容
シティセールス広報課を新設し、多岐の所管に渡る取組みを統括的かつ戦略的に1つの政策課題として実行している。地域への愛着を醸成する取組みが3段階のステップで行われており、現在は第1段階の市民を「まきこむ」取組みとして、市民ワークショップを開催している。その他にも、情報発信力を強化するため「まちの情報誌」の発行、食のブランド化を図る「かずかペードセレクション」の認定、地域資源等を再認識するための親善大使の任命など、アイデアを盛り込んだ多くの事業を展開している。

感想・成果

柏市内の在宅療養支援診療所、訪問介護ステーションや在宅診療所などの在宅サービス事業所数は年々増えており、自宅での看取り数も増えている。また、生活支援や補助を短時間ずつ請け負う「生きがい就労」の確立にも取り組んでいる。

柏市のシステムが刈谷市でも参考になると考えられるため、柏モデルの研究を深めて本市に相応しい形を考えていく。



地域包括ケアシステムの先進事例を研究

委員会の動き

企画総務委員会

◆所管事務調査

野田地区の分割(市からの報告)

○これまでの経過

昭和41年の東刈谷駅の開業に伴い、市内で一番大きい地区となる。

昭和61年より分割に関する研究が始まる。

平成25年10月に検討会議が発足し、住民説明会等を経て、26年10月に野田地区より市へ要望書が提出される。

○要望の内容

①野田地区を小学校区(朝日・東刈谷)で二分割

②地区名は、野田地区及び東刈谷地区

③分割開始時期は平成27年4月1日

〔問〕分割による住民のメリットは。
〔答〕地域行政事務などが効率よく進めることができるほか、地区全体に目が届きやすくなることで、きめ細かい対応が可能になる。

その他、「親善大使」「地域防犯夜間巡回」などが話し合われました。

福祉経済委員会

◆所管事務調査

技能五輪全国大会

〔問〕会場を誘致して実施した大会の評価は。

〔答〕来場者は目標であった1万1,000人を1万人上回り、ものづくりのまち刈谷を大いにPRできたものと考えている。

その他、「刈谷駅周辺の喫煙対策」「交通児童遊園の移動販売」「第6期介護保険事業計画」などが話し合われました。

建設水道委員会

◆所管事務調査

街路樹の維持管理について

〔問〕江戸川区の街路樹管理について、市の見解は。

〔答〕路線ごとに街路樹の目標樹形を定めて管理していることや委託業務の質的向上を図っていることなどは参考になると考えている。

その他、「避難道路沿道の家屋の耐震化」「刈谷駅北地区市街地再開発」などが話し合われました。

魅力ある刈谷

～より住みよい、住み続けたい刈谷市を

- ◆文教委員会 (10月15日～17日)
 - 岩手県盛岡市
遺跡の学び館について
 - ※秋田県秋田市
学力向上の取組みについて
 - 宮城県仙台市
新たな学校防災教育について

- ◆建設水道委員会 (10月22日～24日)
 - 東京都江戸川区
新しい街路樹デザインについて
 - 群馬県前橋市
中心市街地活性化等によるまちづくりについて
 - ※静岡県浜松市
スマートインターチェンジについて

学習指導に学力状況調査を活用 ～教員をサポートする仕組みとしても有効～

文教委員会委員長 加藤 峯 昭

目 的
全国学力・学習状況調査でトップクラスに位置する秋田県の中心、秋田市の学校教育における各種取組を学び、本市児童生徒の学力向上に向けた参考とする。

視察内容
小中9年間を見通した系統的、発展的な指導計画のもと、発達の段階に応じたきめ細かな学習指導、生き方指導を実践している。小中学生が豊かな心を育む交流活動についても連携が図られている。

具体的な取組みとしては、全国学力学習状況調査のほか市の独自調査、県の調査も含め結果を分析・考察し「授業改善のポイント」や「実践事例集」として体系的に整理し、教員が活用している。実際に効果のあった指導方法は、他の教員にフィードバックされるような仕組みとなっている。



各種学力状況調査の分析により作成した指導手引きを全ての教員が共有して活用

感想・成果
秋田市では家庭学習は当たり前という考えが風土として根付いており、子どもの高い学力を支えている。

本市においても学力状況調査の分析・活用のように、現場で指導に当たる教員をサポートする仕組みについて、大いに参考にすることは、家庭学習の充実に向けても、地道な指導を継続することが必要であると感じた。

スマートインターチェンジ設置効果を検証 ～利便性の向上、産業・観光振興等に繋がる～

建設水道委員会委員長 黒川 智 明

目 的
刈谷ハイウェイオアシスにおけるスマートICの設置を今後検討していく中、設置による市民の利便性や経済効果等について、浜松市の事例から学ぶ。

視察内容
浜松SAスマートICは総工費16.7億円（ICから市道接続部分までの市負担額は高速道路区域のためほぼゼロ）であり、平成24年4月に設置されている。

主な効果としては、高速道路へのアクセスの向上や、企業立地・近接する浜松フルーツパークの入場者数が大幅に増加したこと、防災航空隊と連携し防災拠点として機能していること等が挙げられる。そのほか、三方原・館山寺にもスマートICの設置を計画しており、恵まれた交通環境を活かし、利便性の向上や観光振興等による地域活性化を見据えている。



スマートIC設置による効果を研究

感想・成果
朝の慢性的な渋滞緩和や、物流コスト低減効果による産業振興、関東方面・関西方面からの物流等の中継地点、また大規模災害時の防災拠点として有効的に活用する等、様々な効果が期待される。

ただし、ハイウェイオアシス近郊の県道名古屋岡崎線は、休日には慢性的な渋滞が発生していることから、周辺道路の改善を合わせて検討していく必要がある。

文教委員会

◆所管事務調査 学力向上の取組み

〔問〕学力向上に向けた取組みについて、どのような方策を考えているか。

〔答〕少人数授業を充実させ、子ども同士が学び合う授業を推進するとともに、市独自に実施している総合学力調査の結果を分析し、各学校に具体的な指導方針を示していく。

その他、「登下校の安全」「命の教育」などが話し合われました。

議会トピックス

◆中学3年生が議会を体験

(平成26年10月30日～11月14日)
表紙の写真でもご紹介しましたが、市内の全中学校3年生が、「地方自治制度学習」として、刈谷市議会を訪れました。

議会事務局の職員から議会の仕組みなどについて説明を受けた後、模擬議会を行いました。

生徒の感想を掲載します。

- ・議会の判断が市を変えるという、責任感をもって、議員一人一人が刈谷のことを決めていることが分かりました。
- ・議員や市長はみんなの代表だから、自分の意見に合う人を選ぶ力を身につけて刈谷の発展に協力しようと思います。
- ・議長席に座ってみると、自然と気持ち引き締まり、私たちの暮らしをよりよいものにするために話し合う姿がイメージできました。

- ・市議会の傍聴に行くことで、もっと議会を身近に感じられたらと思います。

【これからの刈谷市に望むこと】

- ・住民の意見を一つ一つ丁寧に扱って、問題の少ない、安全なまちを持続させてほしいです。
- ・多くの企業が本社を構える刈谷の特色を活かし、官民一体となって、CEMSやスマートグリッドなどエネルギーの有効活用を図り、持続可能な社会の実現を目指してほしいです。

一般質問

市政のついでを問う

この定例会では、12月3日から5日までの3日間で、15人が登壇し、36項目にわたり、市政全般についてたまたす一般質問が行われました。一人一項目を要約し、掲載します。

一般質問項目（発言順）※印が掲載した項目です。

- 佐原 充 議員
 - ※1 環境美化・環境保護について
 - ※2 シティセールスについて
 - ※3 発達障がい者への総合支援について
- 新海 真 議員
 - ※1 刈谷駅の整備について
 - ※2 公共施設連絡バスについて
 - ※3 空き家対策について
- 山本 シモ子 議員
 - ※1 子ども・子育て支援新制度の課題・問題点について
 - ※2 保育園の指定管理者の問題点について
 - ※3 地域経済活性化に向けた取り組みについて
- 白土 美恵子 議員
 - ※1 認知症について
 - ※2 スマホを活用した行政サービスについて
 - ※3 医療費適正化の取り組みについて
- 中嶋 祥元 議員
 - ※1 周辺市との円滑な交通網の確立と安全対策について
 - ※2 スポーツ施設の充実について
 - ※3 刈谷駅北口再開発について
- 神谷 昌宏 議員
 - ※1 刈谷市自治基本条例について
 - ※2 健康 治 議員
 - ※3 教育行政でのいじめ問題について
- 新村 健治 議員
 - ※1 新規就農支援制度について
 - ※2 街路樹の安全点検について
 - ※3 絹男 議員
- 鈴木 絹男 議員
 - ※1 「まちづくり」について
 - ※2 雅春 議員
 - ※3 アルコール依存症について
- 星野 雅春 議員
 - ※1 国民健康保険について
 - ※2 認知症高齢者の徘徊について
 - ※3 不燃物埋立場について
- 加藤 肇昭 議員
 - ※1 住宅等の地震対策の補助制度について
 - ※2 上田 昌哉 議員
 - ※3 刈谷駅周辺のまちづくりについて
- 上田 昌哉 議員
 - ※1 刈谷市の防災と防犯について
 - ※2 沖野 温志 議員
 - ※3 刈谷の産業政策について
- 沖野 温志 議員
 - ※1 子育て支援について
 - ※2 松永 寿 議員
 - ※3 高齢者福祉の充実について
- 松永 寿 議員
 - ※1 放課後児童クラブの取り組みについて
 - ※2 刈谷市環境基本計画の推進について
 - ※3 山崎 高晴 議員
- 山崎 高晴 議員
 - ※1 庁舎における市民、職員の安全確保について
 - ※2 平和行政への取り組みについて
 - ※3 野村 武文 議員
- 野村 武文 議員
 - ※1 積立基金等と運用について
 - ※2 食料とエネルギーの地産地消について

一般質問のすべての質問・答弁がホームページから映像でご覧になれます。「刈谷市議会」で検索し、「議会映像をみる」をクリックしてください。

佐原 充 議員

補助員を増員し、障がいのある子どもにきめ細かい支援を

（主な答弁者：教育部長）

問 市内小中学校で発達障がいがあるいは障がいの可能性がある児童・生徒数は。

答 通常学級で340名、特別支援学級で170名の合計510名である。

問 発達障がいや肢体不自由の児童・生徒のそばに寄り添って、教育活動全般の補助を行う支援指導補助員等はあるのか。

答 教員免許や保育士資格を有している方など様々であるが、面接や事前に説明会を実施し、子どもに寄り添って支援指導している。

新海 真規 議員

市の玄関口である刈谷駅のさらなる改善と整備を

（主な答弁者：建設部長）

問 刈谷駅は市の玄関口として、市の繁栄に大きな役割を果たしている。来訪者が目にし易い連絡通路の壁面を広報板として活用することが市のアピールに有効と考えている。壁面掲示板の活用について、以前にも要望が出ているが進捗状況はどうか。

答 デジタルサイネージ（電子看板）に、駅周辺の地図や店舗情報等を表示して、街の活性化に繋げる取り組みをしている。先進市を参考にしながら、現在鉄道業者との協議を行っている。

問 通路の点字ブロックに人多機能トイレに改修していく。

答 来年度以降早期に和式便器の一部を洋式便器に取替える。また、オストメイト対応トイレを設置し、障がい者に配慮した多機能トイレに改修していく。

山本 シモ子 議員

子ども・子育て支援新制度で公的役割の堅持を

（主な答弁者：次世代育成部長）

問 幼稚園の預かり保育は、新制度への移行により何か変更があるのか。また、時間拡大などの拡充をする予定はあるか。

答 変更は無いが、来年度以降は利用者ニーズを把握しながら、預かり保育を充実させる方針を検討していきたい。

問 支援指導補助員の増員を要望する声現場からも上がってきているが、各学校への配置の考え方はどのようなものか。

答 自傷行為などから、身体の安全を確保する必要がある児童・生徒や、肢体に障がいのある児童・生徒に対してはマンツーマンで配置し、通常学級に在籍する発達障がいのある児童などに対しては、おおむね10名に1人の割合で配置するなど、障がいの程度に合わせた配置を心がけている。

問 駅トイレは老朽化が著しく、和式トイレしかないが、改修を考えているか。

答 来年度以降早期に和式便器の一部を洋式便器に取替える。また、オストメイト対応トイレを設置し、障がい者に配慮した多機能トイレに改修していく。

問 駅トイレは老朽化が著しく、和式トイレしかないが、改修を考えているか。

答 来年度以降早期に和式便器の一部を洋式便器に取替える。また、オストメイト対応トイレを設置し、障がい者に配慮した多機能トイレに改修していく。

問 駅トイレは老朽化が著しく、和式トイレしかないが、改修を考えているか。

答 来年度以降早期に和式便器の一部を洋式便器に取替える。また、オストメイト対応トイレを設置し、障がい者に配慮した多機能トイレに改修していく。



笑顔あふれる預かり保育

問 レセプトや特定健診などの情報を活用し、健康づくりや重症化予防につなげる「データヘルス計画」という事業があるが、いつ策定され、どのように取り組む予定であるか。

答 平成26年6月に厚労省から基本的な記載項目などが示された。現在はその内容を精査するとともに、先進的な取組事例等についての情報収集を行っている。なお、策定期間は平成27年度を予定している。

問 平成25年12月議会で、先発医薬品をジェネリック医薬品

答 平成26年6月に厚労省から基本的な記載項目などが示された。現在はその内容を精査するとともに、先進的な取組事例等についての情報収集を行っている。なお、策定期間は平成27年度を予定している。

問 平成25年12月議会で、先発医薬品をジェネリック医薬品

答 平成26年6月に厚労省から基本的な記載項目などが示された。現在はその内容を精査するとともに、先進的な取組事例等についての情報収集を行っている。なお、策定期間は平成27年度を予定している。

問 平成25年12月議会で、先発医薬品をジェネリック医薬品

答 平成26年6月に厚労省から基本的な記載項目などが示された。現在はその内容を精査するとともに、先進的な取組事例等についての情報収集を行っている。なお、策定期間は平成27年度を予定している。

問 平成25年12月議会で、先発医薬品をジェネリック医薬品

答 平成26年6月に厚労省から基本的な記載項目などが示された。現在はその内容を精査するとともに、先進的な取組事例等についての情報収集を行っている。なお、策定期間は平成27年度を予定している。

問 平成25年12月議会で、先発医薬品をジェネリック医薬品

答 平成26年6月に厚労省から基本的な記載項目などが示された。現在はその内容を精査するとともに、先進的な取組事例等についての情報収集を行っている。なお、策定期間は平成27年度を予定している。

問 平成25年12月議会で、先発医薬品をジェネリック医薬品

答 平成26年6月に厚労省から基本的な記載項目などが示された。現在はその内容を精査するとともに、先進的な取組事例等についての情報収集を行っている。なお、策定期間は平成27年度を予定している。

問 平成25年12月議会で、先発医薬品をジェネリック医薬品

答 平成26年6月に厚労省から基本的な記載項目などが示された。現在はその内容を精査するとともに、先進的な取組事例等についての情報収集を行っている。なお、策定期間は平成27年度を予定している。

と、本市の公定価格は現状とほぼ同程度になると見込んでいる。民間の保育園へは従来どおり委託料として支払うことになる。

問 新制度における保育料は、国が設定する保育料負担額を上限に市が独自に定めることになっている。保護者負担が増えることがないように求めるが、保育料をいつ、どのように決めるのか。

答 新制度の施行に伴う国の基準変更を受け、3月までに決めたいと考えている。

（主な答弁者：長寿保険部長）

医療費の適正化に努め、国保財政の健全運営を

（主な答弁者：建設部長）

問 レセプトや特定健診などの情報を活用し、健康づくりや重症化予防につなげる「データヘルス計画」という事業があるが、いつ策定され、どのように取り組む予定であるか。

答 平成26年6月に厚労省から基本的な記載項目などが示された。現在はその内容を精査するとともに、先進的な取組事例等についての情報収集を行っている。なお、策定期間は平成27年度を予定している。

問 平成25年12月議会で、先発医薬品をジェネリック医薬品

答 平成26年6月に厚労省から基本的な記載項目などが示された。現在はその内容を精査するとともに、先進的な取組事例等についての情報収集を行っている。なお、策定期間は平成27年度を予定している。

問 平成25年12月議会で、先発医薬品をジェネリック医薬品

答 平成26年6月に厚労省から基本的な記載項目などが示された。現在はその内容を精査するとともに、先進的な取組事例等についての情報収集を行っている。なお、策定期間は平成27年度を予定している。

問 平成25年12月議会で、先発医薬品をジェネリック医薬品

答 平成26年6月に厚労省から基本的な記載項目などが示された。現在はその内容を精査するとともに、先進的な取組事例等についての情報収集を行っている。なお、策定期間は平成27年度を予定している。

問 平成25年12月議会で、先発医薬品をジェネリック医薬品

答 平成26年6月に厚労省から基本的な記載項目などが示された。現在はその内容を精査するとともに、先進的な取組事例等についての情報収集を行っている。なお、策定期間は平成27年度を予定している。

問 平成25年12月議会で、先発医薬品をジェネリック医薬品

答 平成26年6月に厚労省から基本的な記載項目などが示された。現在はその内容を精査するとともに、先進的な取組事例等についての情報収集を行っている。なお、策定期間は平成27年度を予定している。



井ヶ谷町沢渡交差点渋滞の様子

問 国道 419 号の 4 車線化、小垣江安城線の 23 号接続は、刈谷市南部の物流網を大きく変化させると思われ、早期実現が必要であると思うがどうか。

答 4 車線化事業は、今年度末には市内の残り区間が約 800m となるため、早期完了に向けて引き続き県に要望を行う。

小垣江安城線は、平成 25 年度

から県事業として着手し、現在、公安協議を実施している。また、地元説明会を開催し、引き続き用地測量を行うべく予定である。この路線は渋滞緩和、物流の円滑化、防災力向上に寄与するものと認識しているため、あらゆる方策を検討しながら早期の事業完了に向け、積極的に協力を行っていく。

神谷 昌宏 議員

刈谷駅北口再開発の実現に向け、積極的な主導を

―魅力ある複合的な駅前空間の創出を目指していく―

問 9 月議会で、刈谷駅北口の再開発について、地元の機運が高まってきたとの答弁があったが、現状はどうか。

答 民間主導での再開発を前提としたものであるが、実現性のある話のほか、関係権利者の状況なども情報として入っており、徐々にではあるが、再開発の機運が高まってきていると認識している。

問 平成 11 年度に北口の再開発が実現に至らなかった理由はどのようなものか。

答 土地所有者や建物所有者、また賃借人などの権利関係が複雑であることや、関係権利者の考え方の相違などが考えられる。

新村 健治 議員

教育行政におけるいじめの把握と対応の徹底を

―子どもの理解に努め、寄り添った指導を心がけていく―

問 いじめ問題は社会が正面から取り組み、事態を打開することが大切である。いじめをどう把握し、対応しているのか。

答 学校生活の様子やアンケート、相談、スクールカウンセラー等からの情報で把握している。教育委員会等に相談があれば学校に伝え、対応方法をア



再開発の機運が高まる刈谷駅北口

場新設の 2 つの整備を実施する必要がありと考えられるが、民間だけでは当然できるものではない。この 2 つの整備に関して、どのように考えているのか。

答 魅力ある複合的な駅前空間の創出を目指しており、土地の高度有効利用、歩道の改善、路上駐車対策などが課題であると認識している。

(主な答弁者：都市整備部長)

問 重大事態が起こらないよう、教育委員会と学校は共通認識を確立する必要がある。いじめ防止に向けた決意はどうか。

答 いじめは誰にでも起こるといふ共通認識に立ち、子ども

鈴木 絹男 議員

住みたい、住み続けたい、帰ってきたと思えるまちづくりを

―元気で活気のある持続可能な未来志向のまちづくりを進める―

問 市長 2 期目のマニフェストの進捗状況はどうか。

答 マニフェストを行程表にまとめたまちづくりプランについて全体の 7 割を超える取組みが既に完了しており、残りの取組みについても、方向性を決定して推進している。

問 市長 2 期目をどのように評価、総括しているのか。

答 安心・安全を重点施策に置き、ハザードマップの作成、青色パトロールによる夜間地域巡回、地域医療連携、刈谷城築城 480 年記念事業等を行った。これら事業で一定の成果を上げることができたのは、市民の皆様をはじめ、多くの皆様のご理解、ご協力の賜物であると感謝している。

星野 雅春 議員

アルコール依存症患者とその家族を社会で支援する取組みを

―保健所の助言、指導を受けて、関係部署と連携を図っていく―

問 アルコール依存症に対する見解と、相談機関は。

答 依存症は病気であるという認識を持ち、医療機関を早期に受診することが重要である。厚労省によると、大量飲酒者に脳萎縮が高い割合で見られることや認知症の危険性が高まることと示されている。

(主な答弁者：福祉健康部長)

問 今後のまちづくりについて、7 月の市長選挙も見据えて、どのように取り組むのか。

答 市民の皆様の負託を再びいただけるのであれば、ふるさと刈谷のために全力を傾注し、市民の皆様の元気と幸せ、安心安全を確保できるよう、元気で活気ある持続可能な未来志向のまちづくりを目指していきたい。



郷土愛を育み未来へ夢を紡ぐ

からのサインを見逃さない体制が必要である。自主性、主体性の育成や自分が大切な存在だと感じられる学校づくりが重要であり、今後も子どもに寄り添った指導を心がけていく。

(主な答弁者：市長)

を生活習慣 6 つの分野のうち 1 つとして位置づけており、節度ある適度な飲酒についての啓発や、情報提供等を進めていく。

加藤 峯昭 議員

避難道路沿道の建築物にも地震対策の補助を

―補助制度の創設等を含め早期に実施していきたい―

問 地震対策として、今年度から新たに実施している補助制度はどのようなものか。

答 新たに 2 つの補助を実施している。一つ目は、建物が倒壊し、道路の通行ができなくなることを防止するため、緊急輸送道路等の沿道にある建築物に対して、地震対策の補助を行う「緊急輸送道路等沿道建築物の耐震診断費補助と耐震改修費補助」。二つ目は旧耐震基準の木造住宅を対象とした「耐震シェルター設置費用補助」で、耐震シェルターを住宅内に設置する

ことにより住宅が倒壊してもシェルター内であれば命が助かるというものである。

問 地域防災計画に載っている避難道路とは。

答 災害時に住民が避難する道路でおおむね 6 メートル以上の幅員を有し、交通量が少ない等の基準により住民が選定するものである。

問 避難道路が塞がれないように、沿道の建築物に地震対策の補助を実施する考えはあるか。

答 補助制度の創設等を含め早期に実施していきたい。

成田正和議員の電磁的公正証書原本不実記録等被告事件にかける第一審判決が有罪となったことに対する政治倫理委員会の審査結果について

◆審査の概要

政治倫理委員会では、成田正和議員の電磁的公正証書原本不実記録等被告事件にかける第一審判決が有罪となったことを踏まえ、平成 26 年 10 月 28 日より 4 回にわたり、今後どのように対応すべきかについて協議を行いました。

◆協議結果

刈谷市議会議員政治倫理要綱第 2 条第 1 号に抵触すると認められるため、同要綱第 5 条第 1 項第 4 号の規定に基づき、次のとおり措置することに決定しました。

①措置内容

議員の職を辞することを勧告する。

②理由

電磁的公正証書原本不実記録・同供用の罪で罰金 30 万円の有罪判決を名古屋地方裁判所岡崎支部から言い渡され刑が確定したことは、市政に対する市民の厳粛な信託に応えるために、公正かつ清廉でなければならぬ市議会議員としてはあるまじき行為であり、刈谷市及び刈谷市議会の名誉を著しく傷つけた。

さらに、新聞報道にあるように、裁判長が判決の中で「議員の肩書を利用して第三者に協力を要請するなど巧妙で反省の情も見られない」と述べており、市民からの刈谷市議会に対する信頼を失墜させた。よって、議員辞職を勧告することが妥当と判断した。

上田 昌哉 議員

市民と連携した防犯活動において原付バイク等の利用を

―自転車等に装着するパトロール用グッズを今後検討する―

問 地域住民が実施する青色防犯パトロールとして、現在どのような活動を行っているか。

答 市所有の7台の公用車と地域安全パトロール隊の36台の自動車警察から許可を受け、青色回転灯を装着し、広い範囲を巡回することで、犯罪の抑止



地域の安全を守る青色防犯パトロール

を巡っている。

問 車よりも気軽に、なおかつ徒歩よりも広範囲に活動できる原付バイクや自転車を利用したパトロールについて、どのように考えるか。

答 被害者と同じ目線で見られるため効果があると思うが、原付バイクなどによる単独のパトロールは、巡回中の危険性も伴うことから、必ず複数人でのパトロールをお願いしている。

問 防犯用にバイクや自転車を利用すれば若者の参加が期待でき、地域の輪が機能すると思うが、自転車等に装着する防犯パトロール用グッズはあるか。

答 現状では、市内22地区の地域安全パトロール隊にベスト、帽子、合図灯を配付しているが、自転車等に装着する装備品については、今後検討していきたい。

沖野 温志 議員

中小企業振興基本条例を制定し、地域経済の発展を

―各市の策定状況や条例の内容等を調査し、研究していく―

問 中小企業投資促進補助制度は5,000万円以上の設備投資に対する補助だが、多くの企業が活用できていないため、最低投資額を500万円程度に引き下げてはどうか。

答 県の新たないち創造産業立地補助金と連動して支援するものであり、県の最低投資額1億円に対し本市は5,000万円と要件をかなり緩和しており、引き下げは考えていない。

問 中小企業の支援等は国や県にもあるが、制度や活用方法がわからないとの声がある。市、国、県の補助制度を一覧にまとめることはできないか。



補助制度を活用して取得した工場及び機械設備

問 地域経済発展のため、中小企業のほか、市や大企業の責務等を定める中小企業振興基本条例を制定してはどうか。

答 中小企業に対する支援や

問 児童クラブの入会基準はどのようになっているのか。

答 市内小学校の児童で、保護者及び同居又は同一敷地内の70歳未満の親族が労働等により下校後に家庭にいない状態や、母親の出産、同居の親族の介護等により継続的に児童を育成できない状態を要件としている。

問 厚労省がまとめた放課後子ども総合プランは、小学6年生まで受入できるように施設整備を進めることを目標としているが、具体的な計画はあるか。

答 現在、低学年児童の確保

山崎 高晴 議員

戦後70年、本市における平和行政への取組みは

―平和首長会議へ加盟し、平和を愛する姿勢を市内外に示す―

問 本市では現在、平和行政に関し、どのような取組みをしているのか。

答 あいち平和行進団の受け入れや、終戦記念日などにおける黙祷の呼びかけ、また、市役所庁舎内で原爆パネル展を開催し、戦争の悲惨さを広く市民に伝えている。原爆パネルは各小中学校へも貸し出し、子どもたちの平和を愛する心を育むよう努めている。

問 来年は戦後70年という節目の年である。遺族より市に対し、平和に対する取組みを進め

野村 武文 議員

行政が知恵を出し「エネルギーの地産地消」を

―ハード・ソフト両面での対策により省エネを進めていく―

問 太陽光発電システム設置

補助等は積極的に行っており、また総合計画でも行政と事業者の役割を定めている。今後各市の策定状況や条例の内容等を調査しながら、研究していきたい。

問 児童クラブの入会基準はどのようになっているのか。

答 市内小学校の児童で、保護者及び同居又は同一敷地内の70歳未満の親族が労働等により下校後に家庭にいない状態や、母親の出産、同居の親族の介護等により継続的に児童を育成できない状態を要件としている。

問 厚労省がまとめた放課後子ども総合プランは、小学6年生まで受入できるように施設整備を進めることを目標としているが、具体的な計画はあるか。

答 現在、低学年児童の確保

山崎 高晴 議員

戦後70年、本市における平和行政への取組みは

―平和首長会議へ加盟し、平和を愛する姿勢を市内外に示す―

問 本市では現在、平和行政に関し、どのような取組みをしているのか。

答 あいち平和行進団の受け入れや、終戦記念日などにおける黙祷の呼びかけ、また、市役所庁舎内で原爆パネル展を開催し、戦争の悲惨さを広く市民に伝えている。原爆パネルは各小中学校へも貸し出し、子どもたちの平和を愛する心を育むよう努めている。

問 来年は戦後70年という節目の年である。遺族より市に対し、平和に対する取組みを進め

野村 武文 議員

行政が知恵を出し「エネルギーの地産地消」を

―ハード・ソフト両面での対策により省エネを進めていく―

問 太陽光発電システム設置

使用量が賄えていると推計できるか。

答 おおよそ2,600世帯分と推計している。

問 太陽光や太陽熱以外の風力や水力等の自然エネルギーについては、今後、どのように普及を図っていくのか。

答 本市は年間の日射量が多いこともあり太陽エネルギーの利用を積極的に進めてきたが、それ以外の自然エネルギーについては設置場所が限られ、騒音などの環境問題も懸念されるため慎重に検討する必要がある。

問 「エネルギーの地産地消」を目指し、市民とともに知恵を出し、研究・開発を進めるべきであると考えますが、これからの省エネルギーを具体的にどのよう

に進めていくのか。

編集後記

かけはし

指先から伝わるコーヒークップの温かさにホッとする毎日です。春という希望を待つ思いは、皆同じでしょう。

さて今年には戦後70年、改めて戦争の悲惨さと平和の尊さについて皆が共有し、今後も平和国家の歩みを誓う年になるよう願っております。

刈谷市ではこの機を捉え、先の12月議会において市長より、恒久平和を願う「平和首長会議」加盟の決意が示されました。これは今後、会議に加盟する都市と連携を図りながら平和を愛する姿勢を市内外にアピールして行こうというものであります。

一方、刈谷市は今年4月、市制65周年を迎えます。これからは、地方分権が更に加速し、これまで以上に地方の主体性発揮が問われ、想像・創造力が求められます。

(議会広報委員会)



自然エネルギーの有効活用 (太陽光発電)

ハード対策としてエコカーや家庭用燃料電池への補助等、ソフト対策として省エネの普及啓発や節電に対するエコポイントの発行等を実施することで、エネルギー使用量の削減を図っていく。

昨年、消滅可能性都市というレポートが世間を騒がせました。刈谷市の人口は幸い、微少ながらも増加推移を堅持しておりますが、昨今の景気低迷は、格差拡大を生み、少子化が更に進行、人口減少の問題が深刻化しています。本市においても他人ごとではなく、更に魅力ある産業文化都市となるよう、今後も知恵を絞って行かなければなりません。

来る3月議会では、平成27年度の全事業施策を執行する当初予算案の審議を中心に議論が交わされる予定となっております。市議会も、刈谷市の将来を見据え、市民の皆様が安心・快適に暮らすことができるまちづくりに向け今後も尽力して行くとともに、市民の皆様がわかりやすい議会報告となるよう、市議会だよりの充実にも取り組んでまいります。よろしくお願ひ申し上げます。

(議会広報委員会)